

議会だより

いずみざき No.65

令和7年8月1日発行

七夕飾り（うさぎ組）



親子歯科指導（まつ組）



水遊び（いす組）

輝く未来を子ども達へ

ヤッホー（まつ組）



自然観察会（たけ組）



いずみちゃん

目次

- 表紙…………… 泉崎幼稚園の子ども達
- 2～3ページ…… 6月の議案を審議
- 4～8ページ…… 4名の議員が村政を問う！
- 9～11ページ…… 議会インフォメーション
- 12ページ…………… 編集後記

泉崎村HPアドレス：<https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

令和7年6月2日～6月13日
(一般質問：6月10日)

＊令和7年第2回定例会が開催され提出された
報告3件、議案9件、合わせて12件を可決し
ました。

議案はすべて全会一致で可決されました。

一般質問は4名の議員が行いました。

詳しい議案件名等はこちらから⇒



6
月
定
例
会

令和7年度予算

一般会計補正予算の中身に注目



堂ノ下集会所

地域の拠点を改善

・泉崎村集会施設等改善事業 304万2千円

瀬知房集会所・堂ノ下集会所
エアコンとトイレの修繕工事を行う

さつき公園のプール

- ・プール外壁塗装(50m) 1,464万3千円
- ・老朽化に伴い、50mプールの塗装工事
- ・さつきプール外壁の塗装工事

・プール用グレーチング 351万4千円

・プールグレーチング交換業務委託料
70万5千円

- ・老朽化によるグレーチングの劣化により、
安全面に配慮するためグレーチングの取
り換えを行う



さつき公園50mプール



学校給食センター建設予定地（桧内裏山地内）

学校給食センター建設に向けて

・学校給食センター排水路整備工事
2,796万2千円

・学校給食センター造成工事
4,020万5千円



泉崎国際サイクルスタジアム

サイクルスタジアム改修

サイクルスタジアム改修工事負担金

623万5千円

令和8年度に東北総合体育大会の会場になっているため実施にむけた改修工事

：事業費負担率：10%から30%に増えたことから補正

条例改正ピックアップ

議案第22号 ＊前納報奨金の廃止へ

来年度から固定資産税・村県民税の前納報奨金制度が廃止

一括納付が困難であったり、給与からの天引きであるとその制度が利用できない等の納税者間に不公平があった

納税環境の多様化により令和8年度からは廃止となります

ぜんのうほうしょうきん

＊前納報奨金とは？

第1期分の納付期限までに全期分を一括して納付すると報奨金が交付される制度のこと

議案第27号 料金の改正へ

物価高騰に伴い食事代を含むカントリーヴィレッジ宿泊料の適正化を図るため宿泊料金の条例を改正

料金規定と近年の米価の高騰、野菜・加工品及び光熱費などの物価上昇が一致していないことから

・夕食代2,400円→3,500円

・朝食代1,100円→1,500円

夕食代・朝食代あわせて含む宿泊料金

1,500円の増額（令和7年7月1日から）



カントリーヴィレッジ



録画映像はこちらから
スマートフォンでも視聴可能！

※アクセス件数

・議会会議録
延べ件数 8,674件（月平均 48.2件）

・議会映像中継
延べ件数 8,788件（月平均 48.6件）



一般質問

4人の議員が村政を問う

▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

1. ^{すずき}鈴木 ^{やすひと}保仁 5 ページ

- ・ 带状疱疹ワクチン接種補助事業
- ・ 正規職員について

2. ^{すずき}鈴木 ^{よしお}義男 6 ページ

- ・ 10月村長選挙の考えについて
- ・ 移住・定住支援について

3. ^{ながくぼ}長久保孝行 ^{たかゆき} 7 ページ

- ・ 村内小中学校のバリアフリー化について

4. ^{しらいし}白石 ^{まさお}正雄 8 ページ

- ・ 村民生活支援の継続
- ・ 生産者と消費者米価
- ・ 自衛隊に情報提供
- ・ 人口減少と住宅政策
- ・ 産業振興計画

带状疱疹ワクチン 接種補助事業

鈴木 令和7年4月1日から定期接種化を開始いたしました。行われる带状疱疹ワクチン接種ですが、今現在、带状疱疹ワクチン補助についての内容を伺います。

保健福祉課長 費用負担については、管内市町村・白河医師会と協議を行い管内統一した費用負担額での接種となります。生ワクチン・接種1回接種・費用8、411円となり、自己負担2、500円、

村負担5、911円組み換えワクチン2回接種、接種費用1回あたり2万1、623円となり、自己負担6、500円、村負担1万5、123円



すずき やすひと
鈴木 保仁 議員

となり、どちらか一方を選択。一度のみ補助を受ける事が出来ます。

鈴木 带状疱疹ワクチン接種対象者にはどの様に告知しているのか伺います。

保健福祉課長 当該年度に該当となる対象者には、4月に個別郵送でお知らせしております。

鈴木 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種にあたりどのワクチンを接種すれば良いのか質問が来ています。行政として郵送ではなくこういった説明もすべきではないかと私は思います。
他の自治体では50歳以上、接種できる任意補助事業を行っている状況を踏まえ今後、泉崎村独自の带状疱疹ワクチン補助対象年齢の拡大の考えはあるか伺います。

保健福祉課長 この事業は国の規定に基づき白河管内5市町村が福島県医師会・白河医師会がそれぞれ委託契約して

おり今後、接種費用や対象年齢等の変更が生じる場合は、5市町村及び福島県医師会・白河医師会と協議を進める。現時点において村独自の対象年齢拡大は考えていない。

鈴木 補助事業は財源の確保が必要であり厳しいのも理解していますが、ワクチン接種によりリスクが軽減されます。ワクチン接種の年齢拡大及び対象者の拡大を村としてお願いしたいとの声がある事をお伝えします。

正規職員について

鈴木 正規職員採用基準を伺います。

村長 一般職員採用試験については、第1次試験において教養試験・事務適性検査を実施し本村の受験者の点数分布や県全体の受験者の点数の推移を参考としながら、一定の基準を設けその点数を上回った者が1次合格者となり、2次試験に進みます。2次試験において複数の面接官による

個別面接及び作文を実施。それぞれの点数化を図り2次試験の合計点数により合格者を決定する。

鈴木 行政の運営業務には職員が欠かせません。また人手不足により仕事量も増える事から、今からでも人材の確保を積極的に行うべきと考えます。今後、高校生新卒者の正規採用は可能か伺います。

村長 職員の減少に伴い年齢構成のバランスが取れていない状況にあります。

また全国的にも公務員志望者が減少している状況であり、

本村でも年々、採用試験の受験者数の減少が見受けられる。今後につきましては高校生新卒者の試験区分も含め他町村の実施状況を参考にしながら、どの様な採用活動が望ましいのか検討し、人材確保に努めたい。

鈴木 状況によっては人手不足が解消出来ない恐れもあり深刻な問題になりかねないと危惧しておりその中で、泉崎村で働きたいと思う若い高校生にも職員として働ける場所を提供するのも行政の役割だと思います。

平969-0101 泉崎村 令和7年4月1日

様 泉崎村長 館内惠勝 (公印 省 略)

泉崎村带状疱疹ワクチン接種券

(接種を受けるときは、この接種券が必要です)

接種券の有効期限 令和7年4月1日～令和8年3月31日

【注意】 組換えワクチンは2回目の接種が令和8年3月31日までに完了するよう、余裕を持って接種を開始してください。有効期限を過ぎた接種の場合は、任意接種となり、全額自己負担になります。

住所 泉崎村
氏名
生年月日

種類	生ワクチン	組換えワクチン
接種回数	1回	2回
自己負担額	2,500円	1回につき6,500円

【助成回数】 生ワクチン1回、組換えワクチン2回のいずれか1種類で生涯1度限りです。

【留意事項】
・ワクチンの効果や特徴、副反応、費用などを参考にしてください。また、持病のある方は、接種が可能かどうかを含め、主治医と相談の上で予防接種を受けてください。
・泉崎村外に転出した場合は、この接種券は使用できません。

接種を希望される方は、直接、裏面の医療機関にご予約ください。
※裏面の医療機関以外で受ける方は、予約が必要で、保健福祉総合センター内保健福祉課にご連絡ください。(☎54-1335)

実施医療機関 使用欄

泉崎村	組換えワクチン	2回目	接種券
氏名			№

組換えワクチン 1回目 接種後、切り取り

泉崎村	組換えワクチン	1回目	接種券
氏名		生年月日	№

生ワクチン 1回 接種券

泉崎村	生ワクチン	1回	接種券
氏名		生年月日	№

該当者へ郵送された接種券

10月村長選挙の考えについて

鈴木 箭内村長として、これまでの公約及び政策の実現など、どう総括しているのか伺います。第6次泉崎村総合振興計画を策定し、泉崎駅周辺整備駅東口開発事業、学校給食センター建設、原・踏瀬長峰地区基盤整備と大きな事業が進んでおります。また、村立病院の方向性、県の事業ですが、関和久地内での県道バイパス工事の早期着工、そして人口減少対策、教育医療、福祉など各種バランスの取れた政策が望まれております。引き続き箭内村政に職責を担って事業の推進、政策を行っていただきたいと思っております。2期目への出馬意向について伺います。



すずき 鈴木 よしお 義男 議員

村長 この3年7か月の間、公約実現への気持ち揺らいだこともなく、皆様のご支援を頂きながら、職員と一丸となって精いっぱい努力をいたしてまいりました。心から住んでよかったと思ってもらえることが村づくりの根幹かと心得ているところであります。まず、最初に村長室をオープンにし、組織の一部機構改革にも取り組みました。次に、出産祝い品の贈呈事業においては、1人目と2人目の拡充さらに増額。子育て支援の環境として、新たに新入園祝い品として、令和6年度より幼児用のランドセルを無償提供。又、道路の補修整備。老朽化していた各地区の消防、火の見やぐらの整備、泉川高屋堰の改修、そして踏瀬新池の堤体改修、さつき運動公園の長寿命化事業への取組他。学校給食センターの建替は、今年度敷地造成、令和8年度建設予定をしています。原地区、踏瀬長峯の2地区の圃場整備関係は、原地区が今年度事業採択、そして着工を予定し、踏瀬長峯地区については、その1年遅れで進捗しています。

次に、駅並びに駅周辺整備の関係では、令和9年度着工を目指しています。病院の建て替えは、現在は懸命に、自己財源確保のため基金積立てに努力しております。

県関係の事業では、県道母畑白河線漆久保地内バイパス整備実現の見通しが出てまいりましたので、一日も早い着工を期待しております。

大きな課題につきましては、ようやく着手、または着手予定と道半ばであることを踏まえ、後援会をはじめとする多くの住民の皆様から2期目への出馬要請を頂いているところもあり、これらについて、熟慮に熟慮を重ね、健康面の不安は残すところはありますが、事業の完成及び進捗を軌道に乗せるため、2期目出馬の意思を固めさせていただいたところであります。

鈴木 2期目、出馬意思を固めたということで、力強いお言葉をいただき安心しました。スローガンである「誠意と熱意を持って創る泉崎、住んでよし、誇れる村づくり」を motto に、村政に全力を投球し

ていただきたいと思います。

移住・定住支援について

鈴木 村全体での移住、定住支援を考えたとき、天王台、都橋住宅団地販売に特化した支援制度ばかりではなく、多角的に間口を広げた支援策が必要ではないか。ほかの自治体で行っている助成金制度も紹介しながら、新たな支援金、助成金制度を提案します。

一つ目、空き家バンク改修等支援事業補助金。空き家購入者はリフォーム工事費用の補助金、売る方は残置物の処分費などの補助金制度。続いて、空き家を改修して泉崎村に定住したい方に対して、改修にかかる費用などの一部を補助する制度。

二つ目、泉崎村の住民になって新たに住宅を購入する移住定住補助金制度。

三つ目、東京圏から泉崎村に移住する支援金制度。

四つ目、泉崎村に移住する前に村を知りたいというお試し滞在補助金制度です。以上のような提案ですが、天王台、

都橋住宅団地の早期な完売の支援制度はもちろんですが、村全体での移住定住支援を考えたとき、多角的に間口を広げた支援策が必要ではないでしょうか。

これらの幅広い支援策及び補助金制度の策定について伺います。

産業経済課長 今後、議員からご提示いただきました支援策も含め、他市町村の実施状況を参考にしながら、有効となる支援策を検討してまいりたいと思います。



北平山堂ノ下宅地分譲地

村内小中学校のバリアフリー化について

長久保 文部科学省が発表した全国の公立小中学校のバリアフリー化の実態調査で福島県は全国ワースト2位と発表されたが、村内小中学校のバリアフリー化の設置状況を伺う。

教育課長 学校施設におけるバリアフリー法が令和2年度に改正され、特別特定建築物に公立小中学校が追加されました。これにより一定規模以上の学校を建築する際にバリアフリー基準の適合が義務付けられたほか、既存の建物に



ながくぼ 長久保 孝行 議員

	一小	二小	中学校
バリアフリースイレ	未整備	未整備	未整備
段差解消 校門～校舎 校門～体育館 昇降口～教室	段差なし 未整備 未整備	段差なし 段差なし 未整備	未整備 未整備 未整備
エレベーター (要配慮児童生徒在籍者数)	未整備 (0人)	未整備 (0人)	未整備 (0人)

本村、小中学校の現在の整備状況は表の通り

もバリアフリー基準適合の努力義務が課せられました。文部科学省が推進する学校施設のバリアフリー化は校舎と屋内運動場に対し3項目あります。
①避難所指定のすべての学校にバリアフリーのトイレを整備
②スロープ等による段差解消(校門・建物、昇降口・玄関・教室の2通り)
③要配慮児童、生徒が在籍す

る学校へのエレベーター設置となっておりま。

長久保 本村の小中学校バリアフリー化が未整備であることを踏まえて質問します。

文部科学省が公立小中学校バリアフリー化を義務付ける、改正バリアフリー法を令和3年4月から施行し、整備を進めるため工事費に対する補助率を2分の1に上げたが、泉崎村の今後の計画、方針を伺います。

教育課長 現時点で学校施設バリアフリー化の具体的な計画、方針はありません。この改修工事には一般財源の負担も生じるため、老朽化による維持費、また少子化による課題等も踏まえ、今後は考えてまいります。また軽微な段差解消は必要性を検討し対応したいと考えております。

長久保 学校施設のバリアフリー化の整備目的は、「幅広い共生社会の理解が進んでい

る中で、使う人の選択肢を狭めない事」、「学校が避難所指定されているケースが多い事」から国が防災対策を改めて見直し、自治体に整備を進めているものです。国も現在、防災庁の2026年度創設を目指し取組んでいる為、今後は泉崎村も学校施設のバリアフリー化の具体的な計画を立てて整備を進めて頂きたい。

泉崎中学校入口



泉崎中学校昇降口



泉崎第一小学校体育館入口

村民生活支援の継続

白石 政府は物価対策として住民税非課税世帯に支援金を出したり、商品券を全国民に配布することをやっているが、生活を豊かにするためには、賃金の引き上げが大事である。今年も村民生活支援は継続されると同時に、新たな対策は考えているのか。

総務課長 ①すでに各家庭に

送付した1人5千円分の地域商品券を支給する事業。②令和6年度実施の定額減税による不足額給付事業。③住民税非課税世帯に1世帯3万円、子供1人2万円を給付する事業。④住民税非課税世帯1世帯6千円を給付する事業。今



白石 正雄 議員

後の新たな事業についてはよく検討していく。

生産者と消費者米価

白石 生産者の減り、生産量が減少すれば、米の値段が跳ね上がるのは当然のこと。政府が米価を管理することによって手を出したのは、市場任せの農政が失敗したこと、政府が消費者価格を引き下げれば、生産者価格を引き下げることになる。農家の減少に拍車をかけ、消費者価格は逆に引き上がるということになる。農業が継続できる政治に変えなければならぬというふうに思うがどう考えるか。

村長 消費者米価の高騰は、収穫量の減少とインバウンドの需要、消費者が一時的に米の購入備蓄に走ったことなどが主な要因として挙げられている。減反政策による生産調整も原因の一つ。しかし、農家の手取りは増えていない。再生された食料、農業、農村

基本法の理念に基づいて、このほど基本計画の策定に着手したところである。村としては、生産者米と消費者米価のバランスの取れた対策が講じられるものと期待している。

自衛隊に情報提供

白石 本年3月29日13人の弁護士により自衛隊名簿提供違憲訴訟が奈良地方裁判所に提訴された。現在自衛隊の情報提供要請に応えている自治体は約6割。泉崎村はどう対応しているのか。

住民生活課長 毎年9月下旬から10月上旬にかけて自衛隊福島地方協力本部長から自衛官募集に必要な対象者情報の提供依頼が来ている。自衛隊法などの定めにより、情報提供できるとされている。当村では、村内の高校3年生男女については名簿で中学3年生男子については閲覧で提供している。

白石 最近の状況では、奈良だけでなく、神戸市でも訴訟が行われていて、新潟市では自衛隊に対する情報提供に同意した人だけ情報開示することになっています。現在の日本では戦争の準備が進められており、アメリカに戦争をさせられる危険な状態にある。戦争放棄の憲法を持つ日本で、戦争の準備に協力していいのかと言うことです。

人口減少と住宅政策

白石 県内では過疎地域が拡大し、人口減少に拍車がかかっている。しかし、住宅地域の拡大もある。核家族化して戸数は増え生活に便利な場所に移住してきているのではないかと。泉崎村の利便性を活かした計画立案が必要でないか。

建設水道課長 令和9年に泉崎駅東西自由通路の工事着工、令和10年には東口広場の着工を予定している。完成後の駅周辺や役場周辺の整備計画策

定を進めている。駅としての機能だけでなく、公共サービス機能も充実させることにより、泉崎の生活の中心地域を形成していきたいと考えている。

産業振興計画

白石 これまでの村政は、財政再建や大震災復興・放射能除染・コロナ感染防止など重大事件に追われ、泉崎村を外にアピールし村内産業を後押しする事業が少なかったように思う。産業振興にどう取り組むのか。

産業経済課長 令和5年度よりコロナ以前の事業再開し、年2回東京日本橋にて定住促進PRを行っている。さつきの里の生産者を中心に、独自の商品開発に取り組んでいく。この他、在宅介護支援の強化や、羽鳥水系水不足問題の解決策などについて取り上げました。

常任委員会報告

設備の維持管理と

駅東口開発

経済文教常任委員会

*請願書第1号

福島県教職員組合中央執行委員長 瀬戸禎子氏提出

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

東日本大震災で被災し、経済的理由により就学等が困難な子供を対象に、「被災児童生徒就学支援等事業」が全額国庫負担の交付金事業として行われているが、事業に係る予算措置は単年度のため、今後事業が終了もしくは規模の縮小等が懸念されます。東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子供たちの就学等を保証するためにも、令和8年度以降も事業の継続と予算の確保が必要であることから採択。

【各課の詳細説明】

- ・教育課 一般会計補正予算中、農業者トレーニングセンターの排煙窓等改修工事費及び運動公園管理費のさつき公園プールグレーチング交換業務委託料について
- ・産業経済課 泉崎村カントリーヴレッジ・ターミナル管理運営業務指定管理料の一般会計補正予算について
- ・建設水道課 一般会計補正予算中、泉崎駅東口開発整備マスタープラン作成費及び橋梁点検委託料などについて



子育て支援と

災害予防

総務厚生常任委員会

*請願書第2号・請願書第3号
消費税廃止各界連絡会

事務局長 服部雅氏提出
「消費税5%への減税を求める請願書」

消費税は高齢化に伴う社会保障、子育て世帯に充当され全世代型の社会保障の財源となっている。減税は様々な財源不足を招き、住民負担や不安の増大を招く懸念もあり不採択
「インボイス制度廃止をもとめる請願書」

登録するか否か選択でき、売上にかかる税額や仕入れにかかる税額が明確で正確な消費税額の計算が可能、税の公平性の観点から見て重要となっている。今後、国の動向を注視し、この制度の在り方の検討及び見直しを求める請願であれば賛同するが、現段階で廃止を求めるまでは賛同できないため不採択

*陳情書第2号

日本労働組合総連合会 福島県連合会 白河地区連合会

議長 藤田隆司氏提出
「地方財政の充実・強化を求める意見書」

地方公共団体の役割が多様な社会ニーズへの対応など、極めて多岐にわたり、急激に進められている自治体システムの標準化や多発化する大規模災害への対応等、地域公共サービスを担う人材不足により職場における疲弊感等は日々深刻化している地方財政の充実・強化を求め採択

【各課の詳細説明】

- ・今後預かり保育等を村として認可していく条例改正の説明
- ・公用車のカーナビ搭載のNHK受信料13万6千円(個人徴収は行わず自治体企業のみ)
- ・不妊治療の際の交通費補助、4万円は交通費を最大5千円とし、8回まで支援する事業
- ・災害対策、各課の人員数、所管する課の事務については引き続き調査・検討を進める



小学校運動会

○ 5月18日(日)



1位でゴール



緊張の時間



ねらってー 入れー



みんなでラジオ体操

第一小学校・第二小学校の運動会が晴れやかに行われました。



まっすぐ植えます



議長あいさつ

愛郷の輝き

田植え

○ 5月18日(日)



お弁当を前にポーズ



横1列に田植え体験

田植え体験に議員7名で参加しました。岩瀬農業高校の生徒さんや村民こだまさんも参加し和やかに田植えを楽しみました。参加者全員で食べるお弁当、とん汁も格別でした。

29回目のグラウンド

ゴルフ大会

○ 5月29日(木)

第29回泉崎村議長杯グラウンド・ゴルフ大会が八雲グラウンドで開催されました。



狙いを定めて…



グラウンドゴルフ競技前に記念撮影

男性の部	1位	飯田磁男	2位	佐藤喜志郎	3位	緑川武男
女性の部	1位	黒崎節子	2位	吉田清恵	3位	山内エイ

分かりやすい広報紙へ

○ 7月1日(火)

福島県町村議会議長会主催の広報研修へ参加しました。

―研修内容―

○議会だよりの編集について

○議会広報クリニク
講師…一般社団法人自治体広報
広聴研究所

代表理事 金井茂樹氏



広報研修



研修前にハイチーズ

まむろがわまち 真室川町議会

来庁

○ 7月15日(火)

山形県真室川町議会の皆さんが「健康で心豊かな里いずみぎき」を目標に掲げている泉崎村の「地域医療等の充実の取組みについて」の視察研修に来訪されました。
研修では保健福祉課長の説明、南東北リハビリテーションの方が説明を行い現地の視察も行いました。



真室川町議会の皆さんご来訪



南東北リハビリテーションの説明



現地の視察へ



リハビリ施設の現場を視察

*** 次期定例会の予定 *** 開会**9月4日(木)**
一般質問9月9日(火) / 議案審議9月12日(金) 予定

第9回 議長杯パークゴルフ大会開催

○ 7月16日(水)

第9回の泉崎村議長杯パークゴルフ大会が行われました。多くの方が参加され、日ごろの練習の成果を発揮していたことと思います。議会からも2名の議員が参加し皆さんとともにプレーしました。



入るかな? 入れー



議長あいさつ



ナイス イン!! かな～



ねらいを定めて ナイスショット

【成績結果】

男性の部

- 1位 藤田昭佑 (白河)
- 2位 石上 光 (いわき)
- 3位 志賀真芳 (浪江)
- 4位 木田晴夫 (大熊)
- 5位 宮本 勇 (泉崎)

女性の部

- 1位 後藤初枝 (郡山)
- 2位 佐川クニ (西郷)
- 3位 佐川房子 (泉崎)
- 4位 黒木春美 (郡山)
- 5位 有賀初子 (白河)



宮本 勇さん (八雲)

参加者の方へインタビュー

良いパークゴルフ場です。プレー人口を増やしたいと思っています。皆さん、よろしくお願いします。

編集後記

毎日、暑い日が続いています。そして毎日のようにコメ問題の熱いニュースが流れています。今まで冷えて切っていたコメ農家からすると、なんと正直不思議で複雑な気持ちです。改めてコメのことがいんな形を取り上げられ皆さんに知られたことは良いことだと思っております。

水田はお米を生産するばかりでなく、雨水を一時的に貯留し時間をかけて排水する雨水貯留機能も有しています。いわゆる田んぼダムで大雨時に水田から排水路への流出量を抑制し、下流域の洪水被害を軽減します。農地は国土を保全しており、荒廃農地が増えては災害も増えてしまいます。

お米は食料の基幹です。未来あるコメ作りを続けたいと思うところです。

(文責 鈴木)

編集・発行責任者

議長

岡 部 英 夫

編集委員会

委員長

岡 部 英 夫

副委員長

加 藤 亮 一

委員

白 石 正 雄

委員

鈴 木 義 男

委員

木 野 内 悟